

## 目 次

### 序 章 | 分析視角と研究方法

■歴史教育研究の三つの時期に着目して

- 1 イタリアにおける歴史教育の概要 ..... 1
- 2 先行研究の検討と分析視角の設定 ..... 4
- 3 研究方法と章構成 ..... 7

### 第1章 | 学習プログラムに見る歴史教育の変遷

■歴史学を取り入れた歴史教育への移行

- 1 周縁に位置づけられた歴史科 ..... 11
    - (1) 第二次世界大戦以前の歴史科 ..... 11
    - (2) 第二次世界大戦後の歴史科 ..... 16
  - 2 歴史学に意味づけられた歴史科 ..... 20
    - (1) 1985年学習プログラム全体の特徴 ..... 20
    - (2) 1985年学習プログラムにおける歴史科 ..... 25
    - (3) 「一般史」と「歴史的探究」の構造 ..... 27
  - 3 学習プログラムの現在 ..... 30
    - (1) 学習内容の変化 ..... 30
    - (2) 「カリキュラムのための指針」 ..... 32
- 小 括 ..... 35

### 第2章 | 歴史教育研究の成立

■「探究」する歴史教育の提起とその後の発展

- 1 「探究」という発想の登場 ..... 39
  - (1) マットッチィによる「探究」の提起 ..... 39
  - (2) ランベルティによる「ラボラトリー」の提起 ..... 45
  - (3) イタリアにおける「探究」活動の独自性 ..... 48
- 2 「探究」の実現に向けて ..... 51
  - (1) 「探究」の前提を探る試み ..... 51

	(2) 「ラボラトリー」に関する研究……54	
小 括	.....	59

### 第3章 | イーボ・マツッチイの歴史教育理論

#### ■「歴史の教養」を身につける歴史教育

1	マツッチイの初等教育のカリキュラム研究.....	64
	(1) カリキュラム研究へのマツッチイの影響.....64	
	(2) 教育心理学への着目.....65	
	(3) 歴史教育と歴史学との関係.....70	
2	歴史教育の到達目標.....	72
	(1) 到達目標としての「歴史の教養」.....72	
	(2) 「歴史の教養」を身につける授業.....73	
小 括	.....	76

### 第4章 | アントニオ・ブルーサの歴史教育理論

#### ■教科書論から構築される歴史教育

1	ブルーサの歴史教科書論.....	80
	(1) 実践における歴史教科書の位置づけ.....80	
	(2) 歴史教科書原論.....84	
2	ブルーサの教育目標論.....	85
	(1) 学習プログラムの位置づけ.....85	
	(2) 教育目標の三層.....86	
3	ブルーサの授業論.....	88
	(1) 「文献資料の概念」.....88	
	(2) 歴史の「探究」の過程.....90	
	(3) 量的資料の優位性.....92	
小 括	.....	93

### 第5章 | 歴史カリキュラム論争における論点

#### ■歴史教育における能力観の転換

1	「垂直カリキュラム」の提案.....	98
---	--------------------	----

	(1) 提案に至る前提……98	
	(2) 民間研究団体のカリキュラム案におけるブルーサの影響……101	
2	歴史カリキュラム論争 ……………	105
	(1) 「新しいカリキュラムに向けて」の要点……105	
	(2) 33人の歴史学者によるマニフェストとカリキュラム案……108	
	(3) 歴史教育研究者による応答……111	
小 括	……………	114
第6章	歴史教育研究の現在	
	■ 「歴史教育研究者」による歴史教育理論	
1	「ラボラトリー」論の現在 ……………	118
	(1) デルモナコの「ラボラトリー」再考論……118	
	(2) マットッチィの「ラボラトリー」原論……120	
2	歴史教科書論の現在……………	122
	(1) ブルーサの歴史教科書論総括……122	
	(2) ブルーサの歴史教科書の構成……124	
	(3) 『歴史の作業場』の検討……126	
	(4) 『歴史の作業場—ラボラトリー』の検討……130	
小 括	……………	134
終章	イタリアの歴史教育理論の特徴と課題	
	■ 「探究」が結びつける歴史教育と歴史学	
1	本研究の成果 ……………	137
2	イタリアの歴史教育研究の到達点と課題……………	145
	引用・参考文献一覧……149	
	あとがき……155	
	索引……159	